

2025年度前期HiSEP-Mirai講座計画表

(金曜3限@全学講義棟1-206)

HiSEP-Mirai講座については広く関心ある学生の皆さんに向けて公開しますので直接教室にお越しください

実施日	企画内容	担当教員	分野	講座タイトル	講座概要
4月1日(火)	HiSEP-Mirai 入門セミナー①	永澤 明 (埼玉大学 名誉教授) ----- 下山 慶 (大学院理工学研究科)	全領域	理学の面白さを知ろう ～最先端につながる自然科学とは～ ----- 大学1年生向け現代AI考 ～活用してみる～	○理学とは何か ○科学の考え方の変化 ○理学を学ぶ 素養としての科学と最先端につながる科学 ○物理学の共通言語:単位 SI単位の改訂 ○物理学はどこまで新しいか ○物理学のトピックス ○物理学を楽しむために
5月9日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー②	Dr. Eduardo de la Fuente Acosta (Departamento de Física, Universidad de Guadalajara, Jalisco, México)	科学・社会	International Competence in STEAM and its Impact on Society	In this talk, I will provide a contextualized perspective on how Japan's unique ability to combine a rich cultural heritage with modern innovation can shape both scientific and technological progress and cross-cultural collaboration based on a deep respect for tradition. The talk will highlight the intersection of STEAM and intercultural competence and how they are used in society to solve local problems.
5月16日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー③	井原 隆 (さいたま市市議会議員 東京大学大学院 理学系研究科 博士課程修了)	宇宙・社会	すばる望遠鏡を用いた 超新星観測 理系人材と社会	「すばる望遠鏡」は日本がハワイ島に所有する口径8.2mの世界最大級の望遠鏡です。本講演では、すばる望遠鏡のご紹介から、私が行っていた超新星の観測と、そこから得られたデータに基づいた宇宙膨張測定についてお話します。また現在は研究現場を離れた私の目線から、理学部で培った論理的思考が他の分野でどのように活かせるか、についてもお伝えしたいと思います。
5月30日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー④	中本 進一 (埼玉大学 名誉教授)	国際交流	留学、海外経験がもたらすもの	留学など海外での異文化との接触で、自己内で何が起こるのかについてアイデンティティの変容や、他者との出会いの意味、専門の重要性などについて国際交流論の見地から考える。 1. 簡単な自己紹介 2. 海外に行けば何が自分の中で起こるのか？ 3. イメージしてみよう、留学生活とは？ 4. 理学は音楽である 5. Part 2 予告編！
6月20日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー⑤	小澤 基弘 (教育学部 芸術講座)	科学一般	観察の眼・感覚の眼	科学の基本は対象や事象を観察することから始まります。美術ではそれを「デッサン」と言います。ただ、観察するだけでなく、観察したモノやコトを感じる眼もまた大事です。それは「ドローイング」といい、あくまで主観的な眼ですが、そうした感受性が科学の理解を深くそして人間的なものにするのだと思います。そういう話をしたあとに「ドローイング実践」をします。
6月27日(金)	HiSEP-Mirai オンライン国際交 流会	HiSEP担当教員	国際交流	HiSEP On-line International Student Exchange Meeting	Program included: ▪ Introductory speeches by professors from ITS and SU. ▪ Self-introductions by each member of ITS and SU. ▪ Communication about topics of interests and current affairs.
6月27日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー⑥	吉田 俊一 (埼玉新聞社 編集局編集管理幹)	情報・社会	メディアの変遷と現状 ～新聞に学ぶ情報との向き合い方～	新聞から始まったメディアがどのように移り変わってきたのか。インターネットの登場により、誰もがどこからでも情報を発信し、受信できるようになった。国民の95%がスマートフォン(スマホ)を所持し、スマホがなくては生活が成り立たなくなっている現在、便利になったと同時に不確かな情報や悪質なうそやデマも蔓延している。こうした中、情報との向き合い方を実際の新聞を通して学ぶ。
7月4日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー⑦	君塚 淳一 (茨城大学 特任教授)	一般・社会	「ロボットは都合の良い友人、奉公人、あるいは救世主か？それとも？」 :アメリカのドラマ、映画、アニメにおける映像文学の一考察	AIが益々、進化を遂げる現代、ロボットが人間に近づく、また超えることを、これまでアメリカのドラマ、映画、アニメは、どのように描いてきたか。その描かれ方はサイボーグ、ヒューマノイドなど様々だが、そこに製作側の意図はいかに読み取れるだろう。また我々にとって、人工知能を備えた自立型ロボットは、良い友人、奉公人、あるいは救世主なのか、それとも人間を脅かす存在となるのか。映像作品を文学的視点から各作品が観る者に何を訴えるのかを考える。
7月11日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー⑧	細田 真由美 (元さいたま市教育長)	一般・社会	見えない未来を生きる皆さんたちに 伝えたいこと ～教育行政のトップリーダーの経験を通 して見えてきた求められる人材像～	さいたま市教育長を担っていた6年間、私は、「英語は世界を見る窓」と言い続け、すべての子どもたちに「世界基準の英語力」を身につけさせていこうと考えていた。21世紀後半から22世紀に必要とされる最も大切なコンピテンシーは、「協働的な問題解決能力」であり、また単なるスキル(知識や技能)のみではなく、キャラクター(人格)も大切にされなければならない。さらに、地球規模で課題解決ができる「グローバル・コンピテンシ」を持った人材育成が重要だと考え、施策を立案してきた。その経験から見えてきた求められる人材像についてお話ししたい。
7月25日(金)	HiSEP-Mirai 入門セミナー⑧	石川 俊 (石川建設工業株式会社 石川恒産株式会社 代表取締役)	一般・社会	福島の実状と課題 被災地からの声 ～津波・原発災害からの復興～	東日本大震災から14年5カ月。地震津波災害に加え、原子力災害が重なった複合災害の地「福島」の住民から、若い科学者の卵の皆さんへメッセージ。大震災の経緯から、復旧・復興事業の進捗、14年が経過した現状、廃炉作業が進む原子力発電所の現在、地域の姿などをお伝えします。メディアが発信する情報だけではなく、被災者の声からフィールドワークの重要性と、科学に何ができるかを考えてみましょう。